

| | |
|---|--|
| <p>【本校の学校教育目標】 郷土を愛し 体験を 自己実現の力に変える児童の育成 ～「気づき、考え、実行する」熊っ子～</p> | <p>【本年度の重点目標】</p> <p>◇学校経営 ○学校運営協議会による熟議を通じた地域ともにある学校づくりを進めるため、学校・家庭・地域の課題・目標・活動・評価の共有化</p> <p>○小規模特認校及びコミュニティスクールとして、地域学校協働活動を軸とした教育課程(体験活動)の積極的な工夫・改善</p> <p>○授業力の向上を目指す効果的な複式授業の追究</p> <p>◇教育指導 ○【学力アップ】意欲をもって主体的に学び続ける児童の育成</p> <p>○【社会力アップ】気後れせずに周囲に接し、活動等を通して他者（なかま・保護者・地域等）とよりよくなる児童の育成</p> <p>○【生活力アップ】基本的な生活習慣・学習規律が身についた児童の育成</p> <p style="text-align: right;">主体的に自分の考えを構築し、表現・交流しながら学びを深めることができる授業づくり</p> |
|---|--|

[4：大変良い 3：よい 2：あまりよくない 1：よくない]

| 観 点 | 評価指標・自己評価 | 職員 | 学校関係者評価 | 学校関係者評価を踏まえた改善策 |
|-------|--|-----|---|---|
| 組織・運営 | <p>学校教育目標や重点目標を意識して、目的意識をもって取り組む。</p> <p>・機会を見つけ、学校教育目標を提示し、全職員で共通認識を図る。</p> | 3.4 | <p>・プランが押し付けになっていないか、全職員で共通認識して行ってほしい。</p> <p>・子ども達の考えを反映させながら取組を作っていくって欲しい。</p> <p>・教育目標の達成に向けてふり返りの場で教員の意識の共有を図ることは大切。</p> <p>・変化していく中で、取組も変わっていくことが必要。</p> | <p>◇目指すべき児童像、教師像の共通理解を図り、方向性をもとに教育目標を達成していく。</p> <p>◇子ども達の意欲を大切にし、自己選択・自己決定を意識した取組を行う</p> <p>◇今までの取組を大切にしていきながらも、時代の変化、子どもの実態を踏まえ、新しい取り組みを創造する。</p> |
| | <p>主たる担当の校務分掌で、1カ月前に提案して積極的にリーダーシップを取り、評価・改善（事績に記入）を行う。</p> <p>・年間計画をもとに早めに提案する。また、事後に振り返りを行い、次年度に向けて改善点を明らかにする。</p> | 3.3 | | |
| | <p>週案を活用して、授業時数を確保し、めあて達成の記入により、質的管理を行う。</p> <p>・限られた授業時数の中で、授業時数のバランスを確保した教育課程を編制していく。</p> | 3.8 | <p>・年々充実していっていると思う。</p> <p>・教育課程の管理ができていてとても素晴らしい。</p> <p>・インフルエンザやコロナ等の流行で欠席児童への対応も工夫されていると思う。</p> | <p>◇子ども達が何をできるようになるのか、目標を明確にししながら、行事の精選と授業時数のスリム化を進める。</p> |
| 総合所見 | <p>○コロナが終息し、それまでできなかった取組を再開することができた。ただ、地域の状況、学校の状況等変わってきた中で新たな創造を念頭に教育活動の充実に努める。</p> | | | |

| 観 点 | 評価指標・自己評価 | 職員 | 学校関係者評価 | 学校関係者評価を踏まえた改善策 | |
|------|---------------|--|---------|--|--|
| 学力向上 | 学力向上を目指す授業づくり | 「熊小授業の進め方(めあて[児童自ら発表]⇒見通し⇒一人学び⇒友だち学び⇒まとめ⇒「わがや」タイム⇒次時は～)」を徹底し、児童に学び方の定着を図る。 ・「ふり返し」を通して、課題意識や学習意欲を高められる世にしていく。 | 3.0 | ・充実していると思う。 ・いろいろな活動で「ふり返し」の場面を設定しているの、子ども達も考えを発表できていると思う。 | ◇授業研究を通して、効果的な複式の授業づくりを進める。 ◇子どもたちが主体的に学習に取り組めるような授業づくりを進める。 |
| | | 学習規律の確立を目指す。(チャイム・聞き方・発表の仕方・姿勢・忘れ物〇、筆箱の中身) 【生活力アップ】 ・「学びの準備体操」を通して、学習準備の定着を図る。 | 3.0 | | |
| | 学ぶ意欲 | 主体的・意欲的に学習に取り組めるように単元構成や課題の出し方等授業づくりを工夫を行う。 【学力アップ】 ・自分の考えを持ち、相手に伝えることを意識しながら表現する場を作る。 | 3.0 | ・少人数の課題を整理していく必要があると思う。 ・学びの主体者として学習意欲をいかに持たせ、持続させるか単元計画で練っておくことが大切でしょう。 ・「対話力」は成長していく上でも大事だと思います。 | ◇自己選択、自己決定の場面を作ったり、主体的に学びに向かう環境を作ったりしながら、学びの主体者としての気持ちを持たせる。 ◇「対話力」「コミュニケーション力」を高めるために場の設定の工夫を行う。 |
| | | 多様な方法で意見や考えをのびのびと伝え合えるような場の工夫を行い、対話力を高める。 ・相手の考えを取り入れながらより良いものを作り出していこうとする気持ちを育てる。 | 3.3 | | |
| | 学力の基礎を培う | 家庭学習定着率90%以上を達成し、書き直しややり直しを徹底する。【教育課題】 ・「少メディア週間」の取組等を等して家庭学習の習慣化を図る。 | 3.5 | ・かなりできているように感じる。 ・少メディアの取組は学校全体で取り組むようにしたいです。 ・読書量(図書貸し出し、読み聞かせ等)についての取組を知りたかった。 | ◇児童の実態に合わせた課題や家庭学習について検討し、学習の習慣化を図る。 ◇カスタの活用を通して、個別の課題に適応した学習を進める。 |
| | | 児童の実態に応じた補充学習等により、テストに向けての対策や弱点の克服を進める。 ・カスタ(学習端末)等を活用しながら、一人ひとりに応じた学習や家庭学習ができる体制づくりを行う。 | 3.8 | | |

| | | | | |
|-----------|--|-----|--|--|
| 家庭・地域との連携 | 児童と地域とのかかわりを意識させ、地域の「ひと・もの・こと」を生かした学習活動の実施や工夫・改善を行う。 【社会力アップ】 | 4.0 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事については、コロナ開け、高齢化もあり難しくなってきた。 ・保護者とのかかわりについての課題を共有してもいいのではないか。 ・家庭の子どもに対する教育への関心が高まる実態を十分に生かしていると思います。 ・先生方の理解のもと地域行事に積極的に参加していた。 ・今年は、もちつき大会や他の行事も実施できて、地域の方々との交流を持ってよかったと思う。 ・運動会の中身は、公民館等と合同で行っていく。 | ◇活動を通して子ども達につけた力を明確にし、計画的・系統的な地域学習を行う。 ◇「ふるさと学習」の位置づけを明確にし、子ども達へ嘉麻市の良さを実感させる。 ◇日常的に、保護者と情報共有を図り、関係づくりを進める。 |
| | ・子ども達につけた力を明確にし、系統的に地域の「ひと・もの・こと」を生かした学習活動を進めていく。 迎える時や電話連絡、家庭訪問等で、保護者と話し、子どもの様子など情報を積極的に把握する事ができたか。 ・日頃から、保護者との関係づくりを進め、保護者と家庭で課題やつきたい力を共有していく。 | | | |
| 総合所見 | ○複式の授業が多くある中で、学力向上の取組の効果がある程度上がっている。さらに、児童が主体的に学習に取り組める意欲づくりに向けた取組を創造していく。 | | | |

| 観 点 | 評価指標・自己評価 | 職員 | 学校関係者評価 | 学校関係者評価を踏まえた改善策 |
|------|--|-----|---|--|
| 体力向上 | 外遊び等を奨励し、体力アップシートを活用して児童の体力向上を図る。 | 3.3 | <ul style="list-style-type: none"> ・体力アップについては、個人差が感じられるので、子どもに合わせた取組が必要ではないか。 ・複式学級でも、少人数のため全校で取り組める活動（体育の授業の中で）工夫されてはどうかと思う。 ・P T A活動との更なる連携を進めて行ければと思う。 | ◇一人ひとりの体力の実態に合わせ、進んで体力向上に取り組むような、目標設定、場の工夫を進める。 ◇複式の授業についての工夫・改善を組織的に進める。 |
| | ・一人ひとりに合った目標設定をし、体力アップシートを活用しながら、体力づくりを進める。 「早寝・早起き・朝ごはん・少ゲーム（含 YouTube）」の日常化に向けて、児童や家庭の実態に応じた手だてを講じて、改善を図る。 【生活力アップ】 | | | |
| 総合所見 | ○それぞれの子どもの体力差もあり、それに合った取組はなかなか作り出せていない。体力についても個の実態に応じた取組の工夫が必要だと思う。 ○基本的生活習慣や情報モラルについては、PTA 等とさらに連携を深めていく。 | | | |

| 観 点 | 評 価 内 容 | 職 員 | 自己評価を踏まえた改善策 | 学校関係者評価 |
|---------|--|-----|---|--|
| 豊かな心の育成 | 豊かな心 なかま・保護者・地域とよりよくつながるために、日常の挨拶や返事、丁寧な言葉遣い、相手に対する接し方等好ましい人間関係を作りを進める。 【社会力アップ】 ・言葉遣いについて全職員で即時、その場で指導を行う。 | 3.2 | ・日頃からの関係づくりを大事にしていく。 ・言葉遣いについて、全職員の取組に対する価値を意識をそろえることが大切。 | ◇「ふわふわ言葉・ちくちく言葉」の指導を全職員で徹底して行う。 ◇言葉遣いについて、職員で共通して、即時の指導を行う。 |
| | いじめをなくす取組 いじめの防止・早期発見・対処について常に気を配り取り組む。 ・いじめ研修などで、対応について話し合い、みんなで実践を進めていく。 | 3.6 | ・気になる事象に対して、その場での指導、声掛けを必ず行う。 ・少人数による固定化された人間関係があるのではないかと。 ・自己指導能力の獲得に向け、段階的な指導が必要になると思う。 | ◇生徒指導委員会で児童の状況を早期に確認を行い、必要に応じて対応を検討する。 ◇日頃の児童の様子を丁寧に見取り、いじめの未然防止に努める。 |
| | 規範意識 学校におけるきまりやルール、約束などに基づいて、主体的に判断し行動しようとする気持ちを育てる。 ・頑張りほめ、意欲につなげる。 | 2.8 | ・全体的にできていると感じる。 | ◇気になることは、全職員で指導していく体制を作る。 |
| 総合所見 | ○固定化された人間関係の中で、許されると思ってしまう気持ちや言わなくても通じると思っている面がある。ソーシャルスキルトレーニング等を取り入れながら、心の成長を目指していきたい。 | | | |

| 観 点 | 評 価 内 容 | 職 員 | 自己評価を踏まえた改善策 | 学校関係者評価 |
|-------|---|-----|---|---|
| 主題研修等 | 主題研修の推進等 国語科複式・少人数授業に係る主題研究を積極的に推進する。 ・指導主事を活用し、主題研究の充実を図る。 | 3.8 | ・頑張っていると思う。 ・職員の研修意識の向上が素晴らしいです。 ・複式学級での国語は、授業時数も多く、日々の積み重ねが主題研修につながると思う。 | ◇効果的な複式・少人数授業に向けて、指導主事を招聘し、各学級1回の授業研究を行う。(事前研、授業公開、事後研) ◇研修に行ける職員体制と、還元研修を充実させる。 |
| | 積極的な校外研修への参加、還流研修会の実施を通して研修内容を日常の教育活動に生かす。 ・長期休業中等に還流学習会の場を設け、それぞれが学んできたことを交流していく。 ・還流研修会がもてないときは、資料やまとめたものを配布していく。 | 3.8 | ・ベテランの先生方ばかりなので子ども達の学力を伸ばしていると思う。 | |
| 総合所見 | ○昨年江戸の研究発表を受け、本年度も国語科の複式授業について指導主事を招いて研修ができた。来年度教科書も変わることから、シラバス等の作成を計画的に行っていきたい。 | | | |

| 観 点 | 評 価 内 容 | 職員 | 自己評価を踏まえた改善策 | 学校関係者評価 | |
|-------|--|--|--|---|---|
| 環境構成等 | 環境構成等 | 児童の安全確保・安全管理に努め、緊急対応のマニュアルを熟知し、実動できるように準備する。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの安全確保は重要になってくると思います。 運動会の本番だけでなく、練習においても熱中症対策が徹底されていたようだ。 | ◇多様な状況に対応できるように、それぞれのマニュアルを作成し、職員が対応できるような環境を整える。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 熱中症対策の徹底。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> さらに工夫ができるといいと思う。 | ◇年間を通して、児童の学習・活動の様子が分かるように、掲示物を工夫する。 | |
| | 教室や廊下の掲示物や作品には、学習の振り返りや達成感、発展を促す工夫を行ったか。 | 3.6 | <ul style="list-style-type: none"> 一目で掲示物を見て、日頃の学習活動が分かりやすく工夫されていた。 掲示物には、子ども達の成長の跡が感じられるものばかりでした。作品展入賞の割合も他校に比べて高いように感じました。先生方の指導のたまものだと思います。 | ◇児童に興味を持たせるために定期的に掲示物の入れ替えを行う。 | |
| 総合所見 | ○マニュアルについては、担当が多岐にわたって準備してくれたので、来年度は、それを職員に浸透していく必要がある。また、日常的な安全転勤についても徹底していきたい。 | | | | |